

令和元年度経営発達支援事業評価結果（公表）

I. 経営発達支援事業の内容

1. 経済動向調査に関すること

- ・特になし

2. 経営状況の分析に関すること

- ・目標がないと難しいので対象をマル経利用者にしてはどうか。
- ・創業者のフォローアップでの実施が有効ではないか。
- ・自社の強み、弱みを意識させるSWOT分析から経営分析へと繋げるのがよいのではないか。

3. 事業計画策定支援に関すること

- ・特になし

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・特になし

5. 需要動向調査に関すること

- ・専門家に依頼するための費用を準備する必要があるのではないか。

6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること

- ・展示会、商談会の開催の把握や周知を十分にやってもらいたい。
- ・周知方法がホームページ、広報誌だけでは弱いので周知方法を検討する必要がある。
- ・参加する事業者の掘り起こしが必要である。

II. 地域経済を活性化に資する取組

地域経済の活性化に資する取組に関すること

- ・空き店舗等調査の調査結果に基づいた、次の事業を考える必要があるのではないか。
- ・商業的を絞った取り組みが必要ではないか。

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ・特になし

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ・特になし

(総括)

経営分析、新たな需要開拓に関する項目について、目標と実績との差異が大きかった。今回の評価会議の意見を今後の事業活動に反映させ、目標件数の達成を目指すこととした。